

大雅堂句此事

大雅堂を識し名と堂しうをぬきたり
侍は住者の人
云は侍の事
を生涯に詠諧のやうと云ふもの二句字よりぬ知命
の春の歳旦よ

いふつしやう同りしと行ふ時の春

此種冊系師の儒家坊氏の忠蔵也刊し奉の正月十三日
物故しし奇也又郡山遊学の時より野

葛粉腰と水とをなれやうと
とまへりまへりぬと知らん

祇園神樂加樂丁の事

檜南今更村に注古の御厨子所へ供御の料の要調進
の事也由緒有るころも現在も法役御免也地所例有
く今より不地正月十三日の上御所院御不執柄もあ
大綱と秋上は村長尾原由人入改と着し系月と事係
て系七尹ぬ奉行更御礼とまき帰村と以一件古式
有るものも祇園人交の神樂と祇園舎の扉ハ為村ハ
加樂丁の御勤むし供御調進の以系四系河の店ハ今更
村の没不と係し月替り地ト人文代し調進の役と